

With letters, Plain Living and High Thinking

思い出のキャンパスに足をお運び下さい

英米文学科卒業のみなさんは広く各界でご活躍中のことと思います。あるいは第一線を退いて第二の人生を送っていらっしゃる方も多いでしょう。英米文学科卒業者の累計はすでに3万6,000人を超えます。さて、みなさんは「英米文学科同窓会」の存在をご存じでしょうか。この同窓会は発足してから来年で20年。すでに入会なさっている方もいらっしゃるかも知れませんが、会員はこのところ500人前後で推移している状態で、今回は同窓会活動についてご紹介すると共に、さらに多くの卒業生のみなさんに入会していただきたく、ご案内いたします。

あなたの指定席は常に用意されています

みなさんが毎日通った青山キャンパスがある渋谷も大きな変貌を遂げてきました。東京オリンピック(1964年)を機に青山通りから都電が消え、渋谷駅前にあった東急文化会館も最近高層の総合商業施設「ヒカリエ」として生まれ変わり、華々しくデビューしたことは各種報道を通じてご存じのことでしょう。宮益坂を上るとすぐ目にとまった仁丹ビルもあのマークが見なくなってからだいぶ経ちます。学生の街として親しまれた道玄坂、百軒店、宇田川町界隈もすっかり装いを新たに、相変わらず若者の街としてにぎわっています。

大学キャンパスも、教養課程が厚木に移り、さらに淵野辺に移転するという時代がありましたが、最近で

は文系のほとんどの学部学科が青山に集約され、いまやキャンパスは学生たちの熱気であふれています。正門を入れて間島記念館(図書館だった時代も)へ向かう銀杏並木と、左右に位置する1号館、2号館は昔のままです。ただ、正門を入れてすぐ右側には1987年完成の14号館・総合研究所ビルがそびえ、目を見張ります。毎日チャペルタイムを過ごした当時平屋建てのチャペルも2001年にガウチャーメモリアルホールとして生まれ変わり、1、2階が記念礼拝堂、3階から13階までは教育・研究室になっています。1号館と6号館の間にあった中庭には2012年完成の17号館が同時通訳設備を持つ本多記念国際会議場の入った11階建てとして偉容を誇ります。

いまま変わらぬ緑豊かなキャンパスが温かく迎えてくれます。クラス仲間とぜひお出かけください。四季の彩り豊かなキャンパスがきっとあなたに英気を蘇らせてくれると確信します。

その青山キャンパスを中心に活動しているのが英米文学科同窓会です。時代を越え、世代を越えて同窓生同士が思い出話を交わしながら交流を深め、授業とはひと味違う講演会やセミナーなど多彩なイベントを一緒に楽しみませんか。

みなさんの指定席は常に用意されています。入会をお待ちします。



ガウチャーホールと旧チャペル⑤



昔ながらの1号館 内装はモダンに改装されている



新しいつば校舎群 14号館⑥、17号館⑦

上の言葉は William Wordsworth の“London 1802” からとった1行です。「文学(学問)に親しみながら質素な生活と高遠なる思索」を追求しようという意味です。

The wealthiest man among us is the best:
No grandeur now in nature or in book
Delights us. Rapine, avarice, expense,
This is idolatry; and these we adore:
Plain living and high thinking are no more:

われらの最も富める者は、最もよき人と見られ、自然或は書物の中の壮麗なるものわれらを喜ばすことなし。強奪、貪慾、浪費、これぞわれらが偶像、われらはこれらを崇むる。質素なる生活、高遠なる思索は既になく、(岩波文庫「ワーズワース詩集」 田部重治 選訳 1956年刊より)

英米文学科同窓会設立の際、会のモットーとして採択されました。



青山学院校友会、英米文学科同窓会 とは

「あなたと青山学院」という広報紙がみなさんのお手元に届いていることと思います。青山学院の幼、小、中、高、短大、大学(大学院)はそれぞれが独立した組織となっており、ここを卒業した人全員が青山学院校友会の正会員(在学中は準会員)となり、全会員に年3回送られているのが「あなたと青山学院」です。

校友会の下に大学部会があり、その中のひとつに英米文学科同窓会があります。大学部会と横並びに幼、小、中、高、短大の各同窓会、校友会支部(国内44、海外11)、アイビーグループ(職種別OB会10、ゼミ・アドグルOB会6、クラブ・同好会OB会26)という一大組織を形成しています。

英米文学科同窓会は「相互の理解と親睦を図るとともに知的交流を深める」目的で1998年に設立されました。みなさんは英米文学科



“社会現象”にまでなった「駅伝の青山」3連覇の偉業を伝える「あなたと青山学院」

卒業時に校友会正会員となり、同時に英米文学科同窓会の会員となりました。同窓会会員のうち年会費を納めて登録していただいた方を「特別会員」と位置づけています。特別会員には各種イベントや活動に参加していただくほか、年2回、A4判4ページの会報「Aoyama Sapience」をお送りします。各界でご活躍の同窓会員が執筆する巻頭言をはじめ、講演・セミナーなどの報告、各種コラム、会員の投稿欄を設けて相互の情報交換に役立てています。

英米文学科の卒業生は累計で3万6,000人を超えますが、これに対して、活動主体となる「特別会員」の組織率はまだまだ不十分なのが現状です。

総会は隔年開催で、毎春、記念講演会と事業計画案・予算案審議のあと懇親会を開きます。会場にはご協力をいただいた先生方にもご出席いただき、全体的な交流の場として好評です。講演会・セミナーは本学内外からの研究者に加え、各界でご活躍中の同窓の方々をお招きし、学生時代の講義とはひと味違う切り口から講師のみなさんの人間味あふれるお話を伺っています。その他、シェイクスピア劇やミュージカルなどの鑑賞会、各種見学会・散策、校友会地方支部との交流などにも力を入れています。

これまで106回実施した中の主なイベント(開催順・講師肩書きは当時・敬称略)

セミナー	羽矢 謙一	明治大学教授	ロレンスの世界—Lady Chatterley's Lover
厚木キャンパス訪問	講演	松岡 佑子	静山社社長 翻訳家
相模原 Campus 訪問	講演	手塚 喬介	青山学院大学名誉教授
朗読トーク	朗読	谷川 俊太郎	詩人 William Elliot 関
講演	講演	夏目 房之介	学習院大学大学院教授
講演	講演	佐野 弘子	青山学院大学教授
講演	講演	小田島 雄志	翻訳家
都内散策	講演	麻生 えりか	青山学院大学准教授
講演	講演	鈴木 悟	元朝日テレビ 特派員
セミナー	茶話会	長谷川 洋子	英国センター代表
セミナー	講演	秋元 実治	青山学院大学名誉教授
セミナー	講演	外岡 尚美	青山学院大学教授
OB・OG Forum	講演	久守 和子	ノートルダム女子大学名誉教授
公開講座	セミナー	杉田 敏	PlapJapan 代表取締役
セミナー	講演	田中 啓史	青山学院大学名誉教授
講演	講演	林原 博光	富良野自然塾副塾長
講演	講演	伊達 直之	青山学院大学教授
			キャンパス巡り チャペルコンサート
			ハリ・ポッターとの出会いと出版、翻訳の仕事
			英語表現から見る世界の問題
			ジェイムズ一世時代のシェイクスピア
			The Sound of Music
			東学院大学名誉教授 川村和夫 関東学院大学名誉教授
			『孫が読む漱石』を語る
			イギリスルネサンス 詩のこころ一花に託して
			シェイクスピアの人間学
			記念の碑などを訪ねる
			Kazuo Ishiguro の「日本」
			アメリカ大統領との対話 その醍醐味と秘訣
			ミルトンと Performing Arts
			アフタヌーンティー&トーク
			シャーロック・ホームズの英語と文化
			アメリカンミュージカル—歴史の描き方
			ギリシア神話とイギリス文学との関わりを考える
			と朗読のコンサート〜
			英語を駆使してみてくる世界
			F.S.フィッツジェラルドとJ.D.サルリンジャーの世界
			夢の敗者復活戦 地球の自然保護に取り組む
			イメージの新しい形を求めて

セミナー	中野 康司	青山学院大学元教授	ジェイン・オースティンのここが面白い
OB・OG Forum	観劇会	佐久間 康夫	青山学院大学教授
記念講演	作家	森村 誠一	青春の条件—タイムスリップできたら青学時代へ
セミナー	講演	佐藤 紀子	青山学院大学名誉教授
講演	講演	古賀 節子	青山学院大学名誉教授
観劇・講演	講演	佐久間 康夫	青山学院大学教授
講演	講演	吉波 弘	青山学院大学教授
OB・OG Forum	講演	中山 俊宏	慶應義塾大学教授
講演	セミナー	竹野 一雄	日本大学大学院教授
セミナー	講演	橋本 清一	青山学院大学学長
講演	講演	橋本 清一	青山学院大学教授
セミナー	講演	佐藤 亨	青山学院大学教授
観劇会	講演	日生劇場	嵐が丘
OB・OG Forum	公開講座	若林 麻希子	青山学院大学教授
被災地石巻訪問	講演会	廣田 美玲	青山学院大学非常勤講師
講演会	Christmas Songs & Tea		のついで 学院クリスマスツリー点火祭りに歌唱と懇談
セミナー	公開講座	稲生 衣代	青山学院大学准教授
公開講座	セミナー	C.De Wolf	慶應義塾大学名誉教授
			チェロと朗読のコンサート Part 2〜
			ジュリアス・シーザー
			アイルランド文学への誘い
			幕末留学生の墓標—日英友好の奇跡をたどって
			Tempest の魅力 観劇会事前講演
			英語と日本語の発音の違い—音韻論を通して
			福島からのハーモニーとアイルリッシュハーブの調べ
			オバマ大統領はアメリカを変えたことができたか
			C.S.ルイスとグレアム・グリーン
			変わる社会と大学の対峙
			ブロンテ姉妹の故郷ハワースの自然
			北アイルランド 茶話会
			NHK「大人倶楽部」弦楽四重奏
			Dutch New York—知られざるアメリカの起源
			「大震災遭遇 その日その時」市内視察と女川町訪問
			イギリス小説と財産継承
			チャーノ・ラティーンとアメリカ社会
			通訳と異文化コミュニケーション
			日本文学の魅力と価値 漱石没後100年にちなんで